



佛蘭西答屈智幾
二

洋学文庫
文庫8
C 300
2





佛蘭西答屈智幾卷之二

村上英俊

譯



陸軍部圖書



諸軍隊敵近キ所ヲ為ス進行ノ論
 第三十章 敵近キ所ヲ為ス行軍
 軍隊全ク敵アル近キ所ヲ為ス行軍ニ於テハ常
 ニ陣列整齊ノ思慮ヲ定ムヘシ。○軍隊ハ最モ堅
 陣ヲ作りテ。其一和ヲ欲ス。然レテ通行スル國ノ
 地形ト。其行ク所ノ國ノ地形ト。其長スル所ノ武
 器ノ類ト。軍士ノ強弱ト。敵ノ部署ト。敵ノ智略ト。

佛蘭西答屈智幾

卷之二

陸軍部圖書

敵ノ遠近ト。敵戦列ヲ整齊スル迅速トヲ。其ニ之ヲ。量リ算スルナリ。此類ノ行軍ヲ。簡古ニ之ヲ言フキハ。戦争ノ戒嚴ト云フナリ。余茲ニ。陣列整齊ノヲヲ。述ヘント欲ス。

第三十一章

諸行軍ハ。敵ヲ襲撃スルト。戦地ヲ取トノ策ナリ。然、攻撃陣列ト。防守陣列ノ。整齊ヲ為ザルヲ得ス。

攻撃行軍ト戦地ヲ取ルトノ行軍ノ差別
余敵ヲ攻撃スル行軍ト。戦地ヲ取ル行軍ノ間ニ。差別ヲ為シテ。攻撃行軍ト。戦地略定行軍トニ。差

別スルナリ。○陣列齊整ヲ為ス。目標ノ法則ハ。軍士訓練ニ。於ル如ク。其出陣ノ法ト。一。致ニシテ。殆トト同則ナリ。○戦地略定ノ行軍ハ。此他輜重ノ切實ニ。管シテ。攻撃行軍ニ。一。二ノ異ナル組合セニ。後事スルナリ。○戦地略定ニ往ク軍隊ハ。少ナリトモ。輜重ヲ必ス携ヒ往クヲ欲ス。然シテ。敵ヲ攻撃スルヲ始ル軍隊ハ。其輜重ヲ要地ニ置キ。其後ニ至リテ。隊ニ合スルナリ。○余カ輩。出陣ノ法。軍士ノ排列。軍士ノ導法ヲ。次第ニ研究セシニ因リ。先ツ直ニ攻撃行軍ノ法ヲ。述ベシ。然シテ後

ニ。戰地略定行軍ニ。移リ行クヘシ。

第一綱

攻撃行軍ヲ為ス

第三十二章

攻撃行軍ハ。兩事ニ在リ。

第一ハ攻撃行軍ヲ始ル

第二ハ攻撃行軍ヲ遂クル法

余漸々ニ。此兩事ヲ説キ始ムヘシ。

衆多ノ縦隊ニテ。行軍ヲ為ス要務

事理ハ。軍略ノ注意ヲ為シ。又タ動作ニ迅速ヲ為

ス。我軍隊ノ如キ夥シキ軍士ヲ。衆多ノ縦隊ニ。分
 クルトナク。其軍士ヲシテ。動作セシムルニ。十分
 ナル堅固ノ地ヲ。占メ得ルトハ。甚々容易カラサ
 ルトナリ。○ロハシ公當時ヨリ。軍士猶少カリシ
 時ニ。深慮シテ歩隊ノ整陣ニハ。其占メ得ル地ニ。
 廣ク布置スルトヲ。既ニ書キ著ハセリ。
 行軍ヲ遂クル為ニ。軍隊數隊ニ分カリ。道ヲ殊ニ
 シ来リテ。同シ地ニ至ル。其會同スルニ於テハ。忽
 戰陣ヲ。為スノ法則ヲ定メアリ。
 行軍ノ部署ハ。一軍隊ヲ敵ノ側ニ。當ル如クニ。進

行セシムベシ。其際ニ。他ノ軍隊ヲ以テ。其前ニ嚮
ヒ。進行セシムルナリ。然ルキハ諸隊ノ方位。必シ
モ同シカラズト雖モ。諸隊共ニ戰陣ヲ整ヘ。共ニ
敵ヲ襲ヒ撃ツコトヲ。為セハナリ。

第三十三章 各隊一道ヲ有スル要務并ニ各
隊方位ヲ明知スル要務

衆隊ニテ遂グベキ行軍ハ。各隊其開キレ道カ。又
明カニ知ル所ノ道ヲ取り。又タ鋏手ノ助ニ因リ
テ。近キ得タル方位ヲ占メスンバ有ベカラス。○
余茲ニ。上章ノ理ヲ明辨ス。其故ハ。天時ノ不冝ト。

敵ト。共ニ道ヲ開クコトヲ。妨ケ。且ツ。敵我カ道ヲ探
知ルヲ。許ストモ。道ヲ開クヲ。許サバ。ルカ故ナリ。
且ツ若シ道ヲ知り得ス。又タ開キ得スレテアル
片ハ。道ヲ能ク探知レテカ。又タ道ヲ作リテカ。其
嚮ント欲スル地位ニ。軍兵ヲ進メ近カシムルカ
為ナリ。○此事ハ。敵ヲ攻撃スル為ニ。行軍ヲ為ス
ルカ。又タ敵軍ノ前ニテ。別隊ヲ合セント。欲スル
片ニ。常ニ之アリ。

第三十四章 上章ノ要務ヲ遂クル法則
軍隊。其嚮ル所ヲ定メアルコト。無クシテ。行軍ヲ為

サレムルハ少シ難キ為メニ。若シ軍隊或ル地ニ
 来リ會スルキハ。隊將直ニ其至ルベキ地ノ模様
 相ヒ續行シ得ル。諸方位ヘ。行軍ヲ為サレムル
 ヲ。勤ムヘシ。且ツ其後ニ。道路無難ノ唱ヘト。最要
 ノ軍令ヲ。諭シ告グベシ。○此ノ法ニ因テ。未然ヲ
 防キ。且ツ我ガ謀ル所ノ。動作及ヒ事情ヲ。敵ニ秘
 スルノ策ヲ遂ク。○若シ之ニ反シテ。一時先見ニ
 因テ。指示セル方位ヨリ外ニ。行軍ヲ為サルキ
 ハ。其敵ヨリ見ユルヲ。蔽ヒ陰クスベシ。而シテ其
 見ユルヲ。覆テ困難ナル。行軍ヲ遂グルヲ。強ヒテ

勤ムルナリ。

第三十五章 非常ノ法則

此法則ハ。不虞ノ備ニ。設ケアリ。其故ハ軍隊時ア
 リテ。寨中ニ滞留セズ。而シテ勞苦シテ。明日行軍
 ヲ為スヲアリ。○時アリテ。敵堅固ノ砦ニ據ルカ。
 又タ別隊ヲ以テ。行軍ヲ為スヘキ地ヲ。拒ミ守ル。
 然ルキハ。敵ニ近キ。若シ敵拒ミ争フキハ。之ヲ擊
 テ破ルノ後ニ非ラサレバ。行軍ヲ為ス能ハズ。○
 軍隊行タヲ欲セサル方位ニ。行軍ヲ為サレメテ。
 敵ニ其地ヲ移サシムルヲ。時ニ因テ利アリ。其故

ハ之ニ因テ。敵秘スル所ノ動靜ヲ。察知シ得レバ
ナリ。○雙方ノ軍隊ノ模様。及ヒ某陣所ノ模様。若
動亂ヲ起スハ。是レ他方ヘ行軍ヲ為サントスル
為ニ。生スルナリ。然ルキハ。他方ヘ嚮ヒ。行軍ヲ為
サシメテ。罷勞セシムルハ。無益ナリ。○營ヲ下シ
アル。地ノ後方ニ非ラザレバ。戦争ヲ為シ得ザル
形。又タ戦争ヲ為スヲ。欲セザル形ニテ。唯ニ防禦
ノミヲ主トス。然ルキハ。是レ敵ヲ襲撃スル備ヘ
アル故ニ。前方ヘ行軍ヲ。為スハ無益ナリ。○此ノ
如キ時ニハ。橋ヲ破リ。堤ヲ損ス。即チ橋ヲハ斷チ。

堤ニハ大ナル杭ヲ。突キ入レ。又タ大石ヲ抜キ出
シテ。終ニ水ヲ廻流セシメテ之ヲ損破ス。

此上章ノ考案ニ因テ。諸方ヘ嚮ヒテ。行軍ヲ為ス
ハ。無益ニシテ。且ツ容易ニ非ラサルヲ示ス。然
レモ。諸長官詳ニ。諸方位ノ地利ヲ知ルキハ。行軍
ヲ為スヘシ。若シ其地利。國人ニ聞知スルニ非サ
レハ。詳ナルヲ得ザルキハ。隊將此上ニ述ル諸事
ヲ。思念スヘシ。且ツ其周圍ノ諸地位ノ。明亮ナル
事ヲ。得タル後ニ非ザレバ。寨ヲ必ス棄テ。去ザ
ルノ教ヲ。考ヘ守ルベシ。而シテ。此法ニ因テ。戰場

ノ地利ヲ最モ詳ナルヲ得ヘシ。

第三十六章 攻撃行軍四類ノ差別

軍隊ハ前面ニ於テ。直線ノ如クニ。動作ヲ為シ得。又ク平行線ノ如クニ動作シ。又タ一地位ヨリ。他地位ヘ移リ行キ。數隊ニ分レ。一隊ハ前面ニ於テ。直線ノ如クニ動作シ。一隊ハ前面ニ於テ。平行線ノ如クニ。動作シ得ルナリ。○是ニ因テ。余攻撃行軍ノ。四類ヲ差別スヘシ。

第一前面攻撃行軍

第二側面攻撃行軍

第三前面側面ト相替變スル攻撃行軍

第四一隊ノ軍隊ハ側面ヲ進行スル際ニ他ノ軍隊ハ前面ヲ進行スル攻撃行軍

此ノ如ク。差別ス。然レモ。此終ノ二行軍ハ。第一行軍ヨリ。生スルヲ知ラシム。其故ハ。一軍隊ノ行軍ノ方位ヲ變スルハ。前面行軍ヨリ。側面行軍ニ移リ行キ。又タ側面行軍ヨリ。前面行軍ニ移リ行クヨリ。他ナケレバナリ。○軍兵ノ一分。前面ヲ進行シ。他ノ一分ハ。其側面ヲ進行スル為ニ。分カレ兩分隊ハ。誠ニ異ナル法則ニテ。進行ス。然レモ。其

備前書院藏書 卷之二
軍 達理堂 補
動作ハ。側面行軍。前面行軍ヨリナル。何トナレハ。軍隊ノ一ハ。直線ニ動作シ。一ハ平行線ニ動作スレハナリ。余又タ前面行軍。及ヒ側面行軍ヲ。論説スルコトヲ始ムヘシ。

第三十七章 攻撃行軍ノ諸種類ニ於テ精撰ヲ定ムヘキ確論

軍隊ノ陣營。敵ノ陣營。軍兵ノ往タベキ地形。行軍ハ前面ヲ為スヘキカ。側面ヲ為スベキヤヲ。確定スヘキ。地形ヲ。撰定スルコトナリ。然レモ軍隊各方位ニ於テ。動作スル為ニ。用ユル法ノ差違ハ。其出

陣ヲ為ス法ニ。大ナル違ヲ為ス。○余又タ此部ヲ分タル。差別ヲ善トスル為ニ。此ノ差違ヲ。述タル答屈智幾ノ法則ヲ。簡易ニ述ブベシ。○此ノ再論ヲ為ストハ。人之ヲ非トスル得ズ。何トナレバ。之ヲ失忘シタルニ因テ。數々戦争ニ大ナル害ヲ。為シタルコトアレバナリ。

陣列ヲナシタル。諸攻撃行軍ニ於テハ。軍隊側面ヲ通り行クニ非サレバ。前面ニ於テ。平行線ニ動作シ得ザルコト。明ラカナリ。即チ縦隊ニナルコトナリ。何トナレハ。此行軍ノ陣列ハ。平行陣列ヨリ。初

陣列ニ復ザルヲ得ザレバナリ。且ツ線ヲ通りテ。縦隊ニ進行スル。諸別隊ノ軍隊ハ。四ノ変化ヲ為スニテ足レリトス。○軍隊兵ハ。兩線隊兵ヨリ。衆多ノ縦隊ニ成ルニ非ザレバ。前面ニ於テ。直線ノ如クニ。動作シ得サルヲ明カナリ。

第一。戦争ニ。進行スルニ。十分ニ良キ地ハ。甚タ稀ナリ。而シテ。此行軍ハ。殊ニ遅緩ナルナリ。

第二。軍隊一縦隊ニテ。進行スル所ハ。速ニ戦陣列ヲ。調ルヲ能ハス。

第三。一線隊ノ全軍。衆隊ニ分レテ。其各隊害ニ

遇ハズレテ。進行スルヲハ。甚タ難シ。

戦争ニ於テ。陣列ヲ調ルヲハ。甚タ混亂ヲ為スヘシ。

攻撃ヲ為スニモ。防禦ヲ為スニ於テモ。第一タル所ノ。第一線ノ軍隊ハ。一倍ノ長ヲ為スベシ。其故ハ。各隊ノ軍兵。二線ニ排列スルヲ。一線上ニ。排列スレバナリ。

前面行軍ノ作業

第三十八章

余輩。茲ニ前面行軍ニ於ル。縦隊ノ排列ヲ。常ニ如何カ為スベキヤ。論述スルニ及ベリ。是レ他ナシ。各縦隊ノ兵力ヲ。定ムルヲニシテ。即チ其常數ヲ定ムルヲナリ。而シテ出陣ヲ為ス人負ヲ。示スナリ。

第三十九章

余既ニ説ケルヲニ因テ。軍隊ハ。衆多ノ縦隊ニ分カルニ非サレバ。迅速ノ動作ヲ。為シ得ザルヲ。

證スルニ足レリ。然レモ。若シ軍隊少人負ノ縦隊ニ分ツキハ。此ノ迅速ノ利ヲ得ルヲ難シ。其故ハ隊ヲ分ツニ。勞多キカ故ナリ。其他。若シ縦隊ヲ甚タ多ク増スキハ。其動作モ。亦隨テ混亂ヲ。為スベケレバナリ。

第四十章 前面行軍ノ常法則

前章ニ述ル理ニ因テ。

第一ニ。全軍或ハ別軍ノ別隊ヲ。三縦隊。或ハ四縦隊ニ分ルヲ示ス。

第二ニ。軍隊ノ兵力ハ。二十四拔隊龍。或ハ依私

佛蘭西各軍制 卷之二 王堂

可獨龍タルベシ。而シテ少ナリト雖モ。十二タルベシ。即チ第一線ノ半。及ヒ第二線ノ半ナリ。○此分隊ハ。殆ンド同人數。且ツ同シ陣列ニシテ。最モ簡古ニ諸動作ヲ為シ。且ツ戰爭ノ陣列齊整ヲ為ス。要務ナリ。

第四十一章

銃隊ノ為ニ。別ノ行道ヲ開クコトハ。要務タラズ。何トナレハ。銃隊ハ。此後ニ於テ見ルガ如ク。難事ナク見ユル。縦隊軍兵ニ引キ續キテ。進行スベケレバナリ。而シテ其進行ヲ。怠タルベカラス。

第四十二章

前面行軍ノ為ニ。開クヘキ行道上ニ。余カ述タル法則ニ就テ。今其法ヲ。缺ク例一二ヲ。茲ニ見ルヘシ。

第一ニ。地形時ニ因リテ。分隊ノ數ヨリ少ク。行道ヲ開クコトヲ。遮障スルコトアリ。

第二ニ。地形優レテ。能ク開ケアリテ。分隊ノ數ヨリ多ク。行道ヲ開クニ。容易キコトアリ。

○若シ攻撃返軍ノ動作ヲ為サント。欲スル片ハ。速ニ戰陣ヲ齊フル為ニ。縦隊ヲ増スベキ策

佛蘭西各軍制 卷之二 王堂

ヲ為シ。又々張りタル軍隊ヲ。短縮スル策ヲモ。亦
為スノ利便ヲ謀ルヘシ。○然ルキハ。同人數ノ。分
隊ノ縦隊ヲ作り。之ニ因テ。行道ノ數ヲモ。亦増ス
ベシ。

第四十三章 行道ヲ作ル法則

余今。行道ヲ開ク法則ニ及ベリ。此法則ハ。縦隊ノ
數ト。人負トニハ。拘ハラサルナリ。

第四十四章

若シ前面行軍ヲ開ケアル國中ニ為スルハ。其縦
隊ヘノ命令ハ。立刻ニ戰陣ヲ結フニ要務ナル

ヲ命シ置クヘシ。其故ハ此約束ハ。一ニハ。敵若シ
軍隊ヲ襲ヒ得ヘキ力カ。又ハ一ニハ。行軍ヲ為ス
ベキ地ヲ。軍兵ノ廣張スルノ地ニ供スルキニ。要
務タレバナリ。○然レモ。常ノ陣列ヲ布クニ。容易
ナラザルヲ。顯ス國ニ於テハ。行軍ノ為ニ。此ノ
如キ約束ヲ為スハ。益ナキナリ。○地ノ險阻ハ。實
ニ縦隊ニアラズシテ。他隊ニテ來ル敵ヲ。支遮ス
ベシ。又々常陣列ヲ結フヲモ。支遮スベシ。而シ
テ前面一部ヲ襲ヨリ。他ノ攻撃ヲ為スヲモ。支
遮スベシ。

傳書各居... 卷之二... 連理堂藏

此ノ如キニ當テハ。縦隊必ス利ヲ得ベシ。

第四十五章

隊將。前面行軍ヲ為ス。最要ナリト思フキハ。忽チ縦隊ノ通行スヘキ。國ノ地形ヲ。明知スルヲ。勤ムヘシ。何トナレバ。余ガ述ル所ノ説ハ。地形ニ因リテ。行道ヲ開クノ法ヲ。異ニスルノ要ヲ論スレバナリ。

第四十六章

進行ノ前面ハ。定陣列ヲ齊フルニ。必用ナル諸地ニ於テ。軍隊ノ前面ニ。同等タルベシ。即チ縦隊排

列ニ。用ル地上ニ。排列シ。得ベキナリ。

第四十七章

其後ニ時ノ模様ニ因リ。右縦隊ト。左縦隊トノ間ニ。諸軍兵ヲ。排列ニ用ル地ヲ。残レ置クヲ定ム。若シ此兩縦隊戦陣列ノ側ヲ。覆フ場所ヲ。續行スルキハ。上ニ述ル空地ヲ生スルナリ。若シクハ軍隊五縦隊ヨリ。組ニ成セルキハ。三縦隊ヲ排列スルニ。適スル空地ヲ。左右縦隊ノ間ニ。残スルナリ。若シ翼縦隊。其外側ニ。軍隊排列シ得ベキ空地ヲ。残スルキハ。此布陣地ヲ生スルナリ。或シクハ縦

弗蘭西... 卷之二... 連理堂藏

隊ノ間ニ。四縦隊ヲ排列スルニ。必用ノ廣サアル程ニ。翼隊ヲ遠サク。若シ縦隊排列スベキ地ヲ。其外側面ニ残ス。翼隊一縦隊ナルキカ。或ハ又々翼縦隊ノ。各自必用ノ地。一分ヨリ外ニ残ザルキハ。此ノ如ク翼隊ヲ。遠クルコアリ。

第四十八章 行軍前面ヲ廣ムル事

分チタル戰陣ヲ。作ルヘキ地ニ於テハ。地形ニ因リテ。行軍ノ前部ヲ定ム。

第四十九章

平常如何ナル時ニ於テモ。甚タ廣キ地上ニ。諸縦

隊ヲ。散スルコトヲ避クヘレ。何トナレバ。其地ニ備フル軍兵ヨリ。他ニ兵勢ノ強ヲ得ザレバナリ。且ツ。ルトセシブ。ト_{地名}上將軍曰ク。人數寡クハ。殊ニ擊レ易シト。説ケル如ク。人皆ナ危ブメバナリ。○若シ之ニ反シテ。縦隊ヲ甚タ密ニ為シ置クキハ。戰爭ノ時ニ當テ。軍兵無益ニ集會アルヲ危ブシ。而シテ軍兵廣ク排列スルノ。易キヲ失ヒテ。不幸トナルベキヲ危ブムベシ。○軍隊ノ廣ク排列スルハ。自己ヨリ狭ク張りタル。敵ノ前面ニ。近ヨリテ之ヲ擾亂シ。又襲フント競ヒ来ル。隊ノ

側面ニ迎リテ。中ニ圍ミ撃チ。又夕敵ノ出テ来ル地ニ。衆多ノ銃ヲ射放セシガ為メナリ。○此ノ如キ利ハ。多ク守禦ノ類ニ在リ。若シ軍隊進行ノ間ニ。襲撃ヲ受クルキニハ。此ノ如キ不幸ニ遇フアリ。○此ノ他。行軍ノ前面ヲ。甚タ狭クスルノ害ハ。甚タ廣クスルヨリ少ナリ。

第一ニ。此両害ノ一。若シ地形ニ因リテ。生スルキハ。敵汝ノ側面ヲ撃チ得ルヲ難シ。又夕汝ノ軍隊ヨリ利アル。廣キ排列ヲ。其兵ニ為サシムルヲ難シ。

第二ニ。行軍ノ間ニ。襲撃サル、キニ。汝等自ラ攻撃ノ陣列ヲ。作ルキハ。汝等恐ラクハ。或ル地位ニ。大ナル衆人ノ集會ヲ為スヘシ。○若シ專ラニ守禦スルニ因テ。或ル地ニマデ。追ヒ返サル、キニ。少シク不用ナリシ集會ノ兵。然ルキニハ。汝等ノ用ヲ為シ得ベシ。其故ハ戦争ヲ為ス兵士ノ數ハ。其廣キ排列ヲ為セル如ク。戦争ニ於テモ。亦數々兵威ヲ増スヲアレハナリ。然ルキニハ。唯ニ混乱ヲ避クルヨリ。差異アラザルナリ。

第五十章 不虞ノ戰場ニ就テノ先慮
偏將ハ。定陣列或ハ別陣列ヲ。作ルベキ形状ヲ。為
ス諸地ニ於テ。其時ニ臨テ。軍隊ヲ齊整スベキ戰
場ヲ。詳ニ知ルベシ。

第五十一章

然リト雖モ。諸寨ノ前面ヲ。楂檢スルニテハ。事十
分ナラス。此外ニ其側面覆ワレテアル模様ヲ。檢
査スヘシ。然シテ寨ヲ廻ルニ來ル為ニ。萬方ヲ為
ス敵ヲ支ヘル障碍ヲ以テ。守禦セサルカヲ檢査
スヘシ。○軍隊ヲ廻ルヲ強テ為ス敵ヲ。軍隊自

ラ廻レ得ル為ニ。隊ヲ廣ク排列セシ後ニ。其前面
ニ於テ。軍隊ヲ平行線ニ。動作セシムル法ハ。如何
為スベキカ。○偏將若シ敵知テアル寨ノ側面カ。
又行軍ノ側面ヲ。襲ニ來ルキハ。其寨ヲ保ツヲ。及
ヒ敵ヲ攻撃スベキ陣列ヲ。布キ得ヘキ地ヲ。檢査
スベシ。○此ノ如キ時ニ於テハ。次ノ三事ニ於テ。
其一ヲ擬ミ用フルヨリ。他術アラス。

第一ニ敵ヲ寨ヨリ追ヒ出ス

第二ニ敵ノ面前ニ寨ヲ築ク

第三ニ軍ヲ還ス

双方ニ属スル戦地アルキ。若シ此ノ如キ臨時ノ事ヲ告ケント欲スルキハ。諸縦隊ノ出行ヲ。宰スル長官ヲ。隊將ノ許ヘ遣ハス。簡易ニシテ。善ナルベシ。

第五十二章 出行ニ就テノ別法則

第一則

縦隊ヲ川ニテ。分ルヲ避クヘシ。其故ハ軍隊ノ一齊ヲ破レバナリ。橋或ハ浅瀬ナキキハ。殊ニ然リ。然シテ。彼此ノ軍隊ヲ全クシテ。其力ヲ一ニセシメントスル如ク。分レタル隊ノ動作ヲ。同等ニ

為サシメントスルハ。甚々難キヲナルベシ。

第五十三章 第二則

行軍ニ。側面ヲ授ケ易キ。諸地位ヲ撰ビテ。襲撃ヲ蒙リテモ。軍兵ヲシテ難ナカラシムルヲ。勤ムヘシ。○敵ノ襲撃ヲ。為スニ用ユヘキ道ヲ。奪略スルノ策ヲ。求ムベシ。而シテ。若シ汝ノ側面ヲ。攻撃スル動作ノ。一ヲ助クル道路。及ヒ橋ヲ損スルヲ。戦理ニ於テ。之ヲ欲セバ。終ニ破壊スベシ。

第五十四章 第三則

縦隊敵地ニ入り。其隊ヲ排列ヲ妨クル地形ヲ。進

行スルキハ。軍隊ヲシテ甚タ遠カルヲ。為サシムベカラズ。又タ甚ダ相近クヲモ。亦為サシムベカラズ。○戦争ノ時ニ。常陣ヲ布キ得ル地ニ。相抗スル土地ハ。余ガ既ニ説ケル如ク。敵ニモ亦常陣ヲ布クヲ妨グベシ。○出行ノ軍ヲ命セラレシ。偏將ノ長ハ。其出行ヲ導ク縦隊ニ。敵ノ不意ノ襲撃ヲ受クベキ場所ノミヲ。能ク注目スベシ。○軍隊將。此地理ヲ詳ニ知ルハ。軍隊及ヒ諸般ノ列陣ヲ布キ得ル。第一ノ首謀トナレバナリ。○敵此ノ如キ。縦隊ト行軍トヲ。支フル為ニ備ヘタル。一

作... 卷之... 十七

分ノ寨ニ於テハ。其寨一齊ニ他縦隊ヲモ。支ヘ得ル程ニ非ザレバ。軍兵恐怖セズ。其故ハ軍隊開ケタル地ヲ。奪略シタルキハ。他ノ行道ヲ。互ニ通行シ得ルカ故ニ。他縦隊ハ。此一箇ノ寨ヲ廻リテ。行軍ヲ遂グレバナリ。○若シ敵汝ノ縦隊ノ一ヲ。支フル為ニ顯ハルハ。敵ノ支フル縦隊ヲシテ。彼レト戦ハシメ。然シテ他隊ヲ立刻ニ排列セシメテ。之ヲ助ケシムルキニハ。敵ヲ十分ニ苦シメ得ベシ。

第五十五章 第四則

弗蘭西答屈智幾

卷之二

大

地理堂藏反

是ニ因テ。諸嶮岨ノ國ニ於テハ。諸縱隊ニ容易ノ
通行ヲ得ルヲ。檢査シ求ムベシ。○若シ軍兵進
行ニ善キヲ。見得ザルキニハ。常ニ其動作ヲ共
ニ俱ニ為シ得ル為ニ。此一隊ヨリ他隊ニ。命令ノ
達シ易カラシムルヲ。勤ムベシ。○此預備ハ最
要ナリ。行軍ニ於テ。奪略スベキ不虞ノ寨ニ。近ク
ニ於テハ。殊ニ簡要ナリ。

第五十六章 第五則

我縱隊。別戰陣。定戰陣ヲ。作ス為ニ。我軍兵ノ一部。
又タ全部ヲ合一ニ為シ得ヘキ。開ケタル地ニ。至

ル毎ニ。若シ次ノ章ニ述ル理。妨害ヲ為サズルキ
ハ。其通行ノ方位ヲ。定メテ。開ケタル平易ノ地ヲ。
通行スル縱隊ハ。其隊列ヲ為ス。軍兵ヲ排列スル
ニ。宜シキ距離ヲ。隊間ニ為スベシ。○若シ地形。行
軍ノ前部ヲ。狭クセザルヲ。得ザルキハ。諸縱隊ヲ
其人負ニ從ヒテ。本ノ形ニ復スベシ。而シテ攻撃
ト或ハ守禦トヲ。為ス為メニ。戰陣列ヲ。強カラシ
メント。欲スル地ニ向フ。縱隊ヨリ外ニハ。之ヲ為
スベカラズ。

第五十七章 第六則

何處に各隊を置

老之ニ

其

連理堂痛

俄頃ニ。禁ク墨ヲ。増シ得ル諸地ヲ。検査スベシ。且
 ツ若シ敵我軍ヲ。襲フ為ニ近クハ彼敵ヲ苦シ
 メ得。或ハ敵我軍ヲ支ユル為ニ。設ケタル。墨ヲ。簡
 便ニ廻リ得。又タ圍ミ得。或ハ襲ヒ得ルヲ。證スル
 所ノ地ヲ。検査シ求ムベシ。○前進諸行軍ハ。一ニ
 ハ我軍敵ニ抗シ得ル墨ヲ預備シ。又一ニハ敵我
 軍ヲ支ヘ得ル墨ヲ。認メ得ルナリ。○此墨ヲ次第
 ニ略奪シテ後ニ。我行軍ヲ。全ク為シ得ルナリ。○
 然ルキニハ。我縦隊ヲシテ。此墨ニ向ハシムベシ。
 又タ簡要ノ時ニ於テハ。我縦隊ノ排列ノ助トナ

ル地ニ成ル為ニ。全ク其墨ニ近ク進ムベシ。○此
 ノ理ニ因テ。諸縦隊進行ノ前部ニ。平易ノ戦地ア
 ルト雖モ。其隊間ニ。前ニ述タル距離ヲ成ス。勤
 ムルハ益ヲ為ザル勢アルナリ。○便利ナル墨
 ノ本地ハ。敵ノ為ニモ。行軍ヲ為ス我隊為ニモ。天
 然ノ距離ノ間ニ縦隊ヲ容ル。ノ地。乃チ是ナリ。
 縦隊間ノ距離ハ。軍兵排列ヲ為スニ。容易キヲ簡
 要ナリ。又タ分隊ノ長。老練ノ者ニ非ラサルキハ。
 實ニ最要ナリ。其故ハ。然ルキニハ。隊將自ラ軍兵
 ヲ。右ニ左ニ中ニト。排列スルヲ令シテ。瞬間ニ

佛蘭西軍略

卷之二

其

連理堂痛

其排列ヲ為サシメ得レバナリ。然レモ。若シ大将
自ラ命令スルキハ。此配慮皆ナ無トナルナリ。然
ルキニハ行軍ニ於テモ。陣列齊整ニ於テモ。其軍
兵ヲ各墨ニ。排列セシムベキ。地ノ左ト右トヲ。令
スルニ於テ事足レリトス。

○各隊ノ行列。開ケタル平易ノ地ニ。遇フ毎ニ。不
虞ノ時ニ當テハ。排列スベキ地位ノ一ニ備ヘ得
ベキ方ニ。為ス。最要ナリ。○若シ此方ヲ勤メ為
シタル後ニ。戰陣ヲ布ク。要務ナルキハ。先登ノ
動作ヲ為ス。勤ムベシ。而シテ其二線ノ軍兵ヲ。

第一線ニ排列シテ。戰陣ニ間地ヲ生スルヲ。避ケ
シムヘシ。

第五十八章 第七則

軍兵覆ヒアル地ヨリ。開ケタル地へ。移リ行クベ
キ時ニ。授クベキ法令アラズ。唯ニ覆ヒアル地ヨ
リ平易ノ地へハ。兩隊ヨリ多ク進行セシムル
ヲ。避ケシムベキ。注意スベシ。何トナレバ同
シ道ヲ續キ行ク。三隊ハ同シ高所ヲ進行シテ。其
道ノ出ル口ニ於テ。同時ニ排列スルヲ得ズ。且ツ
中ノ隊ハ。他隊ノ排列ニ十分ノ地ヲ。其側面ニ得

ル迄。進行ノ状ヲ。為シ居ルヲ。勤ムルカ故ナリ。
此ノ如キ行軍ニ因リテ。軍兵ノ動作ニ。終ニ不幸
トナリタル。害難ヲ生ジタルヲ見ル。○千七百
九十三年。子ールギンデシノ戦争。之ニ就テ。須史
モ離スベカラサル戒ナリ。

大将「ツム」リリーズ。右ノ三隊ヲ。子ールヘーリセ
ムノ橋ヲ通りテ。行軍ヲ為サシメタリ。○第一隊
ハ。塙軍ノ左側ヲ撃ツ為ニ。「ラベルギンデ」ト「ラク
ール」トノ間ニ。近ク「ラ」命ゼラレタリ。第二隊ハ。
「ラベルギンデ」ヲ。奪フベキ命ヲ得タリ。而シテ第

三隊ハ。子ールギンデシヲ。奪略セザルヲ得サリ
シ。○此第三隊。其動作ヲ能ク為セリ。第一隊ノ「ク
ライル」。ハイ「ト」公ニ。支ヘラレタル際ニ。第三隊ハ。
其動作ヲ能クナセリ。第二隊ハ。第三隊ノ動作ニ
因テ。其左ニ排列スルニ。最要ノ地ヲ占メ得タリ。
然レモ第一隊ノ軍兵ノ為ニ。右ノ方ハ。甚タ稠密
ニナリタリシ。○帝國ノ射放ノ下ニ。縦隊ニテ止
マルヲ欲セズシテ。我軍隊左ニ排列セリ。而シテ。
佛軍ノ右端ハ。隊列ニ從來アラザル重密ニシテ。
廣マリ散スル「少」ナリシ。之ニ因テ利ヲ得ル「了」。

佛蘭西各屬地 卷之二 達理堂藏

僅ニシテ。然シテ塙軍ニ其右ヲ奪ハル、トヲ生
シタリ。

第五十九章 第八則

行道ニハ。大概十六メートレス佛尺三尺三寸ハ我
ノ廣サヲ為シ。橋ニハ。川上ニ架スル橋及洞道ニ
ハ。八メートレススノ廣サヲ為スヘシ。○軍兵ハ部
曲ニテ通行スベシ。部長ハ軍兵ノ側ニ止リ居ル
ベシ。○車及ヒ分隊ニ属スル車。及ヒ大銃ハ二列
ニテ。進行スベシ。若シ一列ヲ為シテ進行スル片
ハ。如何ナル不意ニ遇フト雖モ。其動作ニ於テハ。

猶豫スルコトアルベカラズ。

第六十章 第九則

銃隊及ヒ騎隊ノ為ニハ。カ所ナルベキ及土地治多クアル
道ヲ避クベシ。○最初ニ。一見シタル片。幾何善ト
見ユルト雖モ。此ノ如キ道路ヲ。治ムルコトヲ為ス
ベカラズ。何トナレバ。此類ノ道ハ。多クハ通行ニ
因テ損シ。而シテ其治道ヲ。少ク怠タル片ハ。忽チ
用ユベカラザルニ至レバナリ。

第六十一章 第十則

我各隊ノ為ニ。甚タ窪キ道ヲ。取ルベカラズ。

佛蘭西各屬地 卷之二 達理堂藏

若シ窪道ノ兩側歩シ難キ場ニテ。即チ絶壁ニテ。造立シアルニ非ザレハ。各隊ノ為ニ。甚タ窪ミタル道路ヲ取ルベカラズ。何トナレバ。若シ敵我軍隊ノ側面ヲ撃チニ来ルキハ。軍隊込失スルノ危ニ遇ヘバナリ。○洞道或ハ谷間狭道中ヲ。一隊ヲシテ通行セシメ得ルヲハ。一事ヨリ外ニ非ラス。乃チ若シ最初ニ分ケ遣シタル隊ノ位置。及ヒ一ニノ他隊ノ方位。敵ノ襲ヒ得ザル形勢ニアルキハ。遣シ通行セシムベシ。

第六十二章 第十一則

若行軍中ニ於テ。歩隊ニ令シタル行道ノ方位ヲ。變ゼシメント欲スルキハ。軍隊ノ隊列ヲ亂サズシテ。其方位ノ變化ヲ為シ得ルニ。十分ナル平易ノ地ヲ求ムヘシ。○平易ノ地ナキキハ。分隊及ヒ部曲。漸クニ其方位ヲ替ヘ。常ニ進行ヲ遲滞セシムル。動作ヲ變スル為ニ。一距離或ハ半距離ヲ以テ。縦隊ニ長クスルヲ勤メ行フベシ。

第六十三章 第十二則

行列ハ。常ニカ所及。真直ニ開クベシ。而シテ曲屈ヲナスキハ。立刻ニ其ヲ長クスベシ。○隊列ヲ亂

伊藤田答屈者卷之二

卷之二

三

達

サズニ。隊ノ方位ヲ變スルノ難事。此ノ用意ヲ欲セリ。殊ニ歩隊ノ續行ヲ為スベキ。行列ニ於テ然リ。○軍兵多クノ屈曲ヲ為ス。行列ニ於テ。余既ニ説ケル如ク。全距離或ハ半距離ニ。隊列ヲ為スヲ勤メ行フベシ。然ラザルキハ。軍兵排列迅速ノ利ヲ失フ而已ナラズ。猶ホ進行ノ疾速ヲモ失フベシ。

第六十四章

余カ説明ニ及ベル法則ハ。甚々大事ナリ。其法則ニ明ナル事ヲ余勤メテ。為シ能ハザルガ故ナリ。

○余此ニ記載セル。法則ノ例ノ為ニ。列印川ノ左側ニ於ル合戦ニテ。大事ナリシ。地利ノ例ヲ。記載シテ其法則ヲ知ラシムルヲ。余茲ニ勤ム。

第一則ヲ見ルヘシ

フレールメルセームトフレールスバクトノ間ニ陣シタル軍隊ノ隊長ヲルムスニ近クマエーンセルニ遠隔セルバヒレニ。通行スル道路ノ入口ナルムウスバクトノ原野ヲ。奪略ニ往クベキ為ニ。行軍ヲ為スヲ命セラレシ。○此行軍ハ甚々難事ナリ。何トナレバ敵。我軍隊ノ前ニ来ルノ用意ヲ

佛蘭西軍記

卷之二

三

達

為シ。而シテ。其行軍ノ時ニ。我軍隊ヲ襲フントノ
備ヘフ。為シアルヲ以テナリ。因テ前ニ述タル法
則ニ示セル如キ。諸配慮ヲ以テ。行軍ヲ為スルヲ
勤メタリシ。

軍隊ヲ五分隊ニ成シ。隊長五道ヲ行クヲ。為シ
タリシ。○此道ヲ作ルヲ命ゼラレシ長。其道ヲ覆
ヒ蔽クスルト。地ヲ掘ルヲ為ス。輕兵ノ從者ト。
坑手數人ヲ從ヘリ。若シ敵我別隊ヲ追ヒ散ズル
ルニハ。此隊十分ニ著シキ隊ヲ作シ得ベシ。隊將
輕裝ノ別隊ト。彼坑手トヲ。行軍ノ前部ニ進マセ

リ。

○フレトメルセムノ野ニ在ル軍隊。直ニ平原
ニ出ツ。○分隊ノ軍士。互ニ其距離ヲ同等ニシテ。
右分隊左分隊ヲシテ。行軍ヲ速ニ初メリ。而シテ
軍隊ヲ戰陣ニ整フル最要ノ地ヲ略セリ。○フレ
トメルセムヨリ。少シノ距離ニシテ。平原狹迫
シテ。フレトスバクノ樹木ニテ覆ハレアリ。○行
軍ノ方位。此ノ障碍ニ因テ妨ケラレ。兩隊ハ殆
ト相接シ。他兩隊ハ。甚々隔リタリ。○然レモ。右分
隊ハ。フレトメルセムヨリ流レ來ル。小川ニ傍

テ進メリ。何トナレバ、川側樹木繁茂スル高處ハ。若シ敵フレースバックノ樹木ノ助ニ因テ。其進行ヲ隠シ。我軍隊ヲ襲ヒニ近ツクキニハ。我軍隊ノ側ヲ覆フニ善ナルガ故ナリ。隊將前部ヲ能ク知ル為ニ、坑手ノ前ニ留レリ。而シテ各隊常方位ニ。相ヒ隔タザルヲ注目シテ。地形ノ善ナルヲ見ルキハ。立刻ニ軍隊ヲ合一セシメル為ニ留レリ。且ツ若シ敵來ルキハ。我軍隊如何ナル場所ニ。據ルベキカラ求ムル為ニ。前ニ居レリ。○是故ニ隊將ハ進ミ行キシ所ノ地ノ右ニ。

鳥ノ飛ニ從上。右ニ向上。其左ニ。鳥ノ飛ニ從カセ。左ニ向フ。何トナレバ。前部ヲ知ル為ニ。是レ最モ利アル方位ナルガ故ナリ。隊將行軍ノ兵ヲ與ニ進マレムル為ニ。甬道ヲ作りテ近ヅキ。而シテ如何ナル障碍アリテ。其觀望ヲ妨クルカ。如何ナル處。行軍ヲ助クルカ。四方ヲ試ミ驗セリ。隊長「ブービングン」ノ塔ニ登リテ。甚々廣遠ノ地ヲ望ミ觀ル。是ニ於テ。此長第一ニアルドルフノ街ト「サルベルグ」城ハ。三隊「フレースバ」林ヨリ出行スル。兩道ヲ通スルヲ見出セリ。第五ニ若

レヘーテセームノ小川上ニアル高處ニ敵據ル
ルハ。此高處敵ヲシテ。我軍隊ヲ十分ニ支ヘシム
ルヲ見出セリ。第三ニ敵若シアルドルヲ街ヲ
奪略セザル内ニ。此高處ヲ横行スル。狹隘道ニ於
テ。戰陣ヲ整ント。欲ムルハ。其軍兵ノ齊整ヲ。亂
スベキヲ見出セリ。何トナレバ敵アルドルヲ
或ハツウデルウレニ。因ラザレバ此狹隘道
ヲ。通行スルヲ甚タ難ケレバナリ。第四ニ。敵狹隘
道ノ右ヲ。進行スル我軍隊ヲ。其左ニ備ヘタル我
銃隊ヨリ。側面ヲ射放サルハ。歴ハサルニ非ラ

ザレハ。隘狹道ノ右ニ。進行スル我軍隊ヲ。襲撃シ
得ザルヲ見出セリ。且フ敵狹隘道ノ右ニ備ヘ
タル炮臺ヨリ。其側面ニ射放ヲ受ル。危害ニ遇フ
ヲナクシテハ。其左ニ進行スル。我軍隊ヲ襲ヒ得
ザルヲ見出セリ。是ニ因テ。隊長。第四縱隊ヲア
ルドルフヘ向ケ出行スルヲ。決意セリ。

諸行軍ヲ指揮スル諸長ハ。其行軍ノ際ハ。フレ
スバクノ林中ニ居レリ。諸長ハ通常ノ方位ヲ能
ク知り。而シテ材智アル嚮導ヲ伴ヒリ。○諸長ハ
最初ニ隊將ト約シ。若シ相ヒ見ルヲ蔽フ絶地

二。進入スルキハ。十分時毎ニ見聞ヲ相通スル。諸
合図ヲ定アリ。隊將方位ノ中ヲ示サント思フキ
ハ。其合図ヲ為ス。此合図ハ。其指揮進退ヲ為ス。隊
將長ニ知ラスル如ク諸長ヘモ。知ラスルニ用ユ
ルナリ。

縦隊出行ハ。若シ要務ナルキハ。アルドルノ高
所ニ。軍兵排列ヲ為シ得ル為ニ。軍隊真直トナリ。
初ノ距離ヲ為ササル前ニハ。フレースバック林ヨ
リ。出行ヲ為ザリシ。○第一縦隊行軍ハ。其右側
面ヲ助クル林。及ヒ沿ノ側ヲ通行ス。然レ地ト

ニ。相上接スル勢ニテ濕地ニ陥入ラセザルガ為
ナリ。

第四ノ縦隊行軍ハ。アルドルヲ出テ、グウデ
ルウトレルヘ通スル。狭隘道ノ中ニ於テ。長クナ
ラズ。何トナレハ。此道傍ノ絶壁。要務ノ時ニ。軍兵
右ト左トニ。容易ク排列ヲ為スベキヲ。妨クルカ
故ナリ。○此行軍ヲ司ル長。其隊ヲ狭隘道ノ左ノ
窪ニ向ケリ。何トナレバ。第一ニ子ウスタト_{地名}ニ
近ヅクキハ。其入口行軍ノ鍵トナルベキハ。上

第百四十五頁 卷之二 三 佐里能載板

山ニ軍兵ヲ近ヅケル。要務トナシハナリ。○第二ニ其地ハ若敵「ゲンセーム」及ビ「ケルウーレル」林ノ際、或ハ「チデスヘルド」ノ前ニ寨ヲ作りテ、我軍ヲ支ユル「ヲナスキ」ハ我軍隊ハ其寨ヲ廻ルカ。又ハ寨ヨリ追ヒ出スベキ。敵ノ右ナルガ故ナリ。○地形ハ實ニ「スベールバック」ヨリ「ハルト」山ニ至ルマテ。自然ニ高クシテ。若シ我軍隊敵ノ右側ヲ撃ツカ。其右翼ヲ撃ツキハ。其左ハ直ニ退ク「ヲ勤ムベシ」。

其後ニ諸行軍ハ軍兵ノ前部ニ同距離ヲ為シテ。

「ゲンセーム」林ト「ハルト」山ノ際ニ臨時ニ作りタム。第二寨ノ備ヘアル「チデスヘルド」ノ高處ニ向ヒタリ。○其後ニ第一縦隊ノ出行ハ「フロ」水車ノ下ヨリ「スベールバック」ノ縁ヲ撃チニ趣ケリ。然レモ此隊「ハウスバック」ノ野ニ至ルニ。此川モ猶ホ川ノ左側ニアル。林ヲモ横行セス。何トナレバ。此方位ハ甚タ近シト雖モ。第一縦隊ト他隊トヲ相ヒ隔テ離スノ碍アルカ故ナリ。此隊ノ出行ハ「スベールバック」ノ流ニ傍テ進メリ何トナレハ。此川進行ノ右側面ヲ覆フガ故ナリ。○此行軍ヲ宰ス

弗爾古本系中幾 卷之二 三 里能幾反

ヲ。襲ニ来ル能ハザレバナリ。然レテ。若シ敵高處
ヲ通行シ。来リ近ツクキハ。我両隊ニテ。敵ヲ撃チ
得レバナリ。○此高處ハ。余既ニ説ケル如ク行軍
ノ鍵地ナリ。又タ「子ウスタ」ト近キ所ハ地形甚々
狹隘トナリテ。軍隊ノ前部ニ。同シ廣サヲ為サズ。
因テ右隊ノ行列。其距離ヲ守リ留ル。其際ニ左隊
ノ行列。相近ツケリ。此處分ノ利ヲ見ルベシ。

第一ニ。行軍ヲ遂クルニ於テハ。若シ敵高處ニ
於テ。我軍隊ヲ支エント欲スルキニハ。敵ヲ寨
ヨリ。追ヒ出スニ。十分ナル我軍兵ヲ。集メ得ベ

シ。

第二ニ。クレウヅサンツト林トノ際ニ。俄ニ築
キタル第四寨ヲ。攻取ニカラ竭スルハ。クレウ
ヅサンツ寨。及ヒ此寨ノ左ニアル。狹隘道ヲ奪
フニ。十分ナル軍兵ヲ。左方ニ備ヘ得ベシ。然レ
テ假令ヘ。令嚴シト雖モ。縦隊行軍ニ於テハ。其
事容易ク有ルベカラス。

諸行列ノ進退ヲ。命セラレシ長ハ。軍隊ヲ「ムウス
バック」野ノ方ヘ導クヲ勤メリ。而シテ進行ノ前
部ハ。「子ウスタ」街中ニ入ルト見ユ。又タ「子ウホ

高麗山... 卷之三 三三 卷之三 載

ウス。及ヒ「ウ」ウンデングウ」邑ト。其墻壁中トニ入ルト見ユ。因テ諸長「フ」フレースバックフ」林中ニ於テ。施シタル如ク其地形ニ從テ。行軍ノ方位ヲ處分セリ。○後ニ諸縦隊ノ行列。ムウスバックム」野ニ迄。延蔓セリ。○第四縦隊。第五縦隊ハ。子ウス多トニ至ル前ニ。為セル如ク。高處ニ向ヘリ。○諸行道ヲ經テ。殊ニ軍隊ヲ亂スベキ。高處ヲ通りテ。ムウスバックム」野ニ至レル。我軍隊ノ此寨ヲ取ントスルヲ。敵之ヲ拒ミ支フルヲ。難事タルヘシ。○敵「タ」タニフスバックタ」近ク。子ウス多ト林ト「ハ」ハルト山トノ際ニ。排列ス

ベシ。然シテ陣スベシ。

第六十五章

前進行軍ヲ為スニ。用ル法則ハ。退行軍ノ法則ニモ。亦属スルナリ。何トナレバ。退行軍モ。亦同ク前進行軍ナレハナリ。然シテ退行軍ヲ為ス軍隊ハ。十分開ケタル平易ノ地ニ於テハ。直ニ敵ト戦争ヲ為シ得ル為ニ。戦陣ヲ為スヲ勤メアリ。

佛蘭西答屈智幾卷之二

福

佛蘭西答屈智幾卷之二

